

教育夢発信

文部科学大臣表彰

1 「キャリア教育」とは

平成11年ごろから「キャリア教育」という言葉が、日本で取り上げられるようになりまし。簡単に言うと、望ましい職業観や勤労観を育てる教育のことです。

文部科学省では、平成17年度から中学校を中心に5日間の職場体験を行う「キャリア・スタート・ウィーク」という取り組みを推進しています。

2 土岐津中の「キャリア教育」

土岐津中の2年生は、年間を通して継続的・系統的に「キャリア教育」に取り組んでいます。「社会から学ぶ」をテーマに、主に職業観や勤労観を広げ、深めることができるように、「職場体験学習」と「職業講話」を2大重点とし、豊かな体験を通して学ぶ学習活動を行っています。

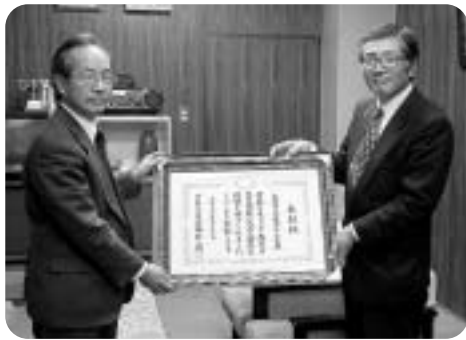
随分前には、連続5日間の職場体験が行われていました。現在では、月曜日に事前の指導や準備などを行い、火曜日から金曜日までの4日間は、各職場で体験活動をするように変わってきています。

これまで先進的・継続的に取り組まれてきた土岐津中学校が、本年度の「キャリア教育優良校」として、文部科学大臣表彰を受けることにな

りました。

土岐津中 加藤辰亥校長の話

土岐津中学校では、平成6年度から本格的に職場体験学習を始め、それからずっと続いてきています。これだけ職場体験を続けてこられたのも、このような素晴らしい表彰を受けることができたのも、これまで事業主さんが気持ちよく受け入れてくださったおかげです。生徒は、職場体験を通して、あいさつの大切さ、物事に丁寧に取り組むことの大切さなどを学ぶことができています。今後にもさらに充実させていきたいと思っています。



白石教育長に文部科学大臣表彰の受賞を報告する加藤校長

地域の事業主さん、職場の皆さん、今後、中学生の「キャリア教育」に、ご協力をお願いします。

(土岐市教育研究所)

教科書を使って 脳トレ

小・中学校で使用する教科書の見本を市立図書館・教育研究所(市役所2階)に展示しています。誰でもご覧になれます。

水溶液について考えてみましょう!

小学校5年生の理科では、「もののとけかた」についての勉強をします。「ものがとけて全体に広がり、すきとおった液を、水溶液という」ことを学びます。

- Q1 食塩の水溶液を何といいますか?
- Q2 水100gに食塩を10g溶かしました。何グラムになりますか?ア~ウから選びましょう。
ア:100g イ:108g ウ:110g

小学校6年生の理科では、「水溶液の性質とはたらき」についての勉強をします。水溶液の性質を調べるには、赤色と青色のリトマス紙を使うことを勉強します。

- Q3 下の①と②に、言葉を入れましょう。
水溶液のなかで、青色のリトマス紙だけを赤く変えるものを酸性の水溶液、どちらの色のリトマス紙も変えないものを(①)の水溶液、赤色のリトマス紙だけを青く変えるものを(②)の水溶液といいます。

リトマス紙と同じ働きをするものがあります。はじめは

緑色ですが、アルカリ性の水溶液をつけると青色、中性の水溶液では緑色、酸性の水溶液をつけると赤(黄)色に変わる「万能試験紙」、BTB溶液という液体のもの、「pHメーター」(デジタルで測定する器具)というものもあります。

<指示薬をつくらせて水溶液の性質を調べてみましょう>

リトマス紙と同じ働きをするものを、ムラサキキャベツ、ブドウの皮、ナス(皮)、シソなどで簡単につくることができます。

<指示薬の作り方>(ムラサキキャベツを例に)

- ①ムラサキキャベツを細かくきざむ。
- ②きざんだムラサキキャベツを熱い湯に入れる。
- ③お湯が紫色になったらこす。(できあがり)

<調べ方>

*こし出した紫色の液に、調べたい水溶液を2~3滴入れ、色の変化を見る。



(東京書籍理科5年下、6年下の教科書を参考にしました)
(答えは、次頁下です)